

ますます強まる独断と偏見で相撲をご紹介!

DOKKOKOI magazine

特集

適当

力士迷鑑
2014

いまさら迫る
名古屋場所
勝手レポ

2014. 9

VOL.7

力士適当迷鑑2014

こりずにめげずに今年も作ってみました!

独断と偏見だらけの適当迷鑑2014。

巷に溢れる力士名鑑には何一つ及ばないけれど、
話のタネということで気軽に読んでみてね。

Yoi-sho!



白鵬 翔 はくほう しょう

本名:ムンフバト・ダバジャルガル
身長:192cm 体重:157kg
出身:モンゴル・ウランバートル
生年月日:1985年3月11日

まわしの色:焦茶
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:右四つ、寄り、上手投げ
様々な面で朝青龍を超えてきた横綱。現役力士の中では随一の記録と、菩薩の心のような素晴らしいボランティア精神と、土俵上での態度の悪さを併せ持つ。



日馬富士 公平 はるまふじ こうへい

本名:ダワーニヤム・ビャンバドルジ
身長:185cm 体重:136kg
出身:モンゴル・ゴビアルタイ
出身:1984年4月14日

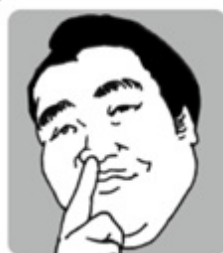
まわしの色:黒
攻め方タイプ:前に出る・食い下がり
得意技:突っ張り、右四つ、寄り
弾丸のような素早い立ち合いが魅力だが、怪我のせいか安定性には欠ける。負けるとつい笑っちゃう。朝青龍と仲良し。去年のお尻のヤケドあとが、まだ残っている。



鶴竜 力三郎 かくりゅう りきさぶろう

本名:マンガラジャラブ・アナンダ
身長:186cm 体重:155kg
出身:モンゴル・スフバートル
出身:1985年8月10日

まわしの色:紺
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:突っ張り、右四つ、下手投げ
勝っても負けても普段でも、表情がほとんど変わらない。大関時代はそれほど存在感を示すことがなかったが、横綱になった現在も存在感を示せていない。



琴奨菊 和弘 ことしょうぎく かずひろ

本名:菊次 一弘
身長:179cm 体重:182kg
出身:福岡県柳川市
生年月日:1984年1月30日

まわしの色:青
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:左四つ、寄り
ガブれば無敵!しかし相手を正面に置かないと危うい面もある。まわしを取ろうとした日馬富士の爪が割れるほど、まわしをきつくしめている。ガブピースは黒歴史になった。



稀勢の里 寛

きせのさと ゆたか

本名:萩原 寛
身長:187cm 体重:170kg
出身:茨城県牛久市
生年月日:1986年7月3日

まわしの色:茄子紺
攻め方タイプ:前に出る・四つに組むタイプ
得意技:左四つ、寄り、突き
実力は横綱級の大関。周囲の期待が高すぎるのかナーバスなところがあるのか、大事な一番での取りこぼしが多い。特に取組み前にまばたきが多い時は危険なパターン。



豪傑道 豪太郎

こうえいどう こうたろう

本名:澤井 豪太郎
身長:183cm 体重:156kg
出身:大阪府寝屋川市
生年月日:1986年4月6日

まわしの色:黒
攻め方タイプ:食い下がりタイプ
得意技:右四つ、寄り
関脇連続在位記録1位(14場所)という良いのか悪いのかわからない成績を持つ期待の新大関!迷いが出なければ強い。焼肉の焼き加減以外のことには興味がない。



妙義龍 泰成

みょうぎりゅう やすなり

本名:宮本 泰成
身長:187cm 体重:149kg
出身:兵庫県高砂市
生年月日:1986年10月22日

まわしの色:青紫
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:押し
立合いの爆発力が武器。突き放す威力と中に入るうまさに定評がある。怪我のせいか成績には波があり、安定性に少し欠ける。声が実にダンディ。苦いコーヒーが大好き。



豪風 旭

たけかせ あきら

本名:成田 旭
身長:171cm 体重:152kg
出身:秋田県
生年月日:1979年6月21日

まわしの色:紫
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:突き、押し
弟子の嘉風の最年長初金星の記録を5日後に塗り替えた35歳のベテラン力士。新関脇昇進も最年長記録で、師匠の尾車親方にも年齢がらみのアドバイスはできないほど。



常幸龍 貴之

じょうこうりゅう たかゆき

本名:佐久間 貴之
身長:187cm 体重:159kg
出身:東京都北区
生年月日:1988年8月7日

まわしの色:青
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:右四つ、寄り、上手投げ
所要9場所での新入幕の史上1位の記録を持つ。大学の後輩であった遠藤の脚光に歯がみしていたがとうとうスポットライトの中心に立った!すこし脇が甘いのが今後の課題?

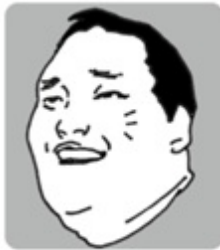


千代大龍 秀政

ちよたいりゅう ひでまさ

本名:明月院 秀政
身長:181cm 体重:167kg
出身:東京都荒川区
生年月日:1988年11月14日

まわしの色:深緑
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:突き、押し
悪そうな顔をしているが、インタビューの受け答えのうまさ、さわやかさは角界随一。すぐに引いてしまう悪いクセは効を奏する時もある。



照ノ富士 春雄
てるのふじ はるお

本名:ガントルガ・ガンエルデネ
身長:191cm 体重:178kg
出身:モンゴル・ウランバートル
生年月日:1991年11月29日

まわしの色:紺
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:右四つ、寄り
ポスト把瑠都のパワー系力士。親方に怒られることをかなり恐れている。下がり眉がキュートで女性からはカワイイと評判だが、雑誌の似顔絵では凶悪な顔で描かれる。



遠藤 聖大
えんどう しょうた

本名:遠藤 聖大(同じ)
身長:183cm 体重:150kg
出身:石川県鳳珠郡穴水町
生年月日:1990年10月19日

まわしの色:紫
攻め方タイプ:四つに組む、前に出るタイプ
得意技:突っ張り、左四つ、寄り
言わずと知れた角界の客寄せパンダ。上位陣に対してはまだ実力が伴わず、じっくりゆっくり成長していくことが期待される。まわしをゆるくしめるセコイ一面も持つ。



高安 晃
たかやす あきら

本名:高安 晃(同じ)
身長:186cm 体重:163kg
出身:茨城県土浦市
生年月日:1990年2月28日

まわしの色:深緑
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:突き、押し、左四つ、寄り、下手捻り
好不調の波が激しく、いい内容の日も悪い内容の日も、なぜか強く記憶に残る相撲をとる。怪我のことは誰にも言わずひっそり治す野生動物のような力士。9月は換毛期。



豊ノ島 大樹
とよのしま たいき

本名:梶原 大樹
身長:170cm 体重:156kg
出身:高知県高知県宿毛市
生年月日:1983年6月26日

まわしの色:紺
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:左四つ、下手投げ
もろ差しを得意とする小兵力士。土俵際でも柔軟に残す。バラエティ番組にもよく出演するが、たびたび物まねを振られるなど、若手芸人並みの扱いを受けている。



碧山 巨右
あおいやま こうすけ

本名:ダニエル・イヴァノフ
身長:192cm 体重:197kg
出身:ブルガリア・ヤンボル
生年月日:1986年6月19日

まわしの色:青
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:右四つ、寄り
先日引退した元大関琴欧州の大学の後輩。「シッ!シッ!!」と言いながら、丸太のように太い腕で強烈な突きを繰り出す。なんかキレてる顔してるけど、キレてないですよ。



嘉風 雅継
よしかぜ まさつぐ

本名:大西 雅継
身長:175cm 体重:142kg
出身:大分県佐伯市
生年月日:1982年3月19日

まわしの色:赤
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:突き、押し
小兵だが学生時代にはアマチュア横綱にもなった実力派。32歳のベテランながら三役昇進や初金星を上げるなど、このところ急激に伸びている。速く攻め続ける相撲が熱い!

**大砂嵐 金太郎**
おおすなあらし きんたろう

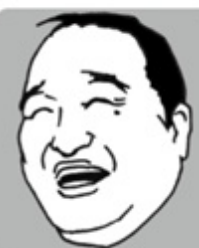
本名:シャーラン アブ(略)ド・アハメッド
身長:189cm 体重:158kg
出身:エジプト・ダカハレヤ
生年月日:1992年2月10日

まわしの色:黒
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:突き、押し、エルボー
同じ幕内の千代丸を食べようと、日々つげ狙っている。取り口がだいぶ「大相撲」らしくはなってきたものの、荒さが目立って下半身もおそろかになりがち。「いつも通り」が口癖。

**勢 翔太**
いきおい しょうた

本名:東口 翔太
身長:195cm 体重:165kg
出身:大阪府交野市
生年月日:1986年10月11日

まわしの色:黒
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:右四つ、寄り
攻め込まれると動きがばたついて吉本っぽくなる。というか全体的に吉本っぽい動きをしている気がする。歌声は美しいが、地声はびっくりするほどオッサンの声。

**安美錦 竜児**
あみにしき りゅうじ

本名:杉野森 竜児
身長:184cm 体重:143kg
出身:青森県西津軽郡深浦町
生年月日:1978年10月3日

まわしの色:黒
攻め方タイプ:食い下がりタイプ
得意技:右四つ、寄り
両膝に古傷を抱え、年齢も若くないが自分の形にするのがうまく、上位陣にとってはイヤらしい存在。コメントにも定評があり、ボンボンとおもしろいことを言う。おちゃめ。

**松鳳山 裕也**
しょうほうざん ゆうや

本名:松谷 裕也
身長:177cm 体重:134kg
出身:福岡県築上郡築上町
生年月日:1984年2月9日

まわしの色:黄金
攻め方タイプ:前に出るタイプ
得意技:突き、押し
相変わらず怖い。普通にしても怖い。取組みのあとアゴをクンッてやってまげをもとの位置に直す。突き押しラッシュがすごい、足がついてこず倒れることもしばしば。

**栃煌山 雄一郎**
とちおうざん ゆういちろう

本名:影山 雄一郎
身長:189cm 体重:160kg
出身:高知県安芸市
生年月日:1987年3月9日

まわしの色:紫
攻め方タイプ:四つに組むタイプ
得意技:右四つ、寄り
三役の常連だったが怪我をして出直し中。豪栄道とは子供の時からのライバル。もろ差しからの速攻相撲を得意とするが、その体勢になれないともろさが目立つ。

**魁聖 一郎**
かいせい いちろう

本名:リカルド・スガノ
身長:194cm 体重:181g
出身:ブラジル・サンパウロ
1986年生12月18日

まわしの色:紫
攻め方タイプ:前に出る、四つに組むタイプ
得意技:右四つ・寄り・押し
腰が重いのが大きな武器だが、気が弱いのか受け身の相撲が多い。ブラジル出身だが親はヨーロッパ人。ゲーム大好き!妹もゲーム大好きでかわいい。9月は換毛期。

紹介しきれないけど、他にもたくさん力士がいるよ!

名古屋場所勝手レポ

地元の雰囲気の色濃く出るのが地方場所。
テレビを見ているだけでも国技館にはない魅力が伝わってきます。
思い立った我々は、早速観戦に行ってきました。
秋場所が始まろうとしている今、いまさらながら
テレビには映らない名古屋場所の魅力に迫ります。

ふれ太鼓を運ぶのも命がけっぼい！ガチやぐら

名城線「市役所駅」を降りると、名古屋城はもう目の前。愛知県体育館は名古屋城城内にあるから、お相撲以外の観光客もたくさんいます。そんな中真っ先に我々を出迎えてくれるのは石垣をバックにそびえ立つ木製のやぐら。その脇を通り抜けるちょんまげの力士たちを見れば、まるで江戸時代にタイムスリップしてしまったよう。テンションがあがってきます！しかしこのやぐら、ホネホネすぎて怖すぎでしょ… 雨が降った時とか、絶対やばい。



見よ、このスカスカっぷり。
キミには登れるか(私は登れない)

体育館外の花道両脇に置いてある植木鉢の寄進元は…

テレビに映る「愛知県体育館前」には、大相撲名古屋場所への寄贈品である樽酒がズラリ。お酒の銘柄がズバリ「金鯰」！う～ん、名古屋っぼい！もち吉のテントも出ていて、チケットをもった人に力水を配っていました。名古屋場所の魅力はズバリこの力水、および軍配型うちわだ（勝手に断定）！とくに軍配型うちわはロビーをウロウロしていると惜しみなく何度でも、何枚でも渡される。うっかり4枚ももらってしまいましたよ（なんか赤

味が違うのがある）。力士が通る場所にはパイロンが立てられ、両脇には植木鉢に入った花が置かれています。この植木鉢も、周辺(?)にあるいくつかの幼稚園からの寄贈品です。これは実にほほえましい。こうして地元からの協力を得ながら、名古屋場所は成り立っているんだね～。

ここは相撲観戦時の撮影ポイントでもあるらしい。
ここに遠藤パネル出せばいいのに…



エクストリームな階段とななめってる柵席

体育館内は相撲仕様に足場が組まれ、いたる所に小さな階段が作り付けられています。まるで舞台裏のようです。酔っぱらったお客さんが転がり落ちても不思議ではありません。柵席に座ってよくよく見ると靴置き場の隙間から下が見えている。これはうっかりメガネでも落としたらやばそうです。

この階段は正面右側の花道沿いにある階段だが、手すりがあるのでまだ親切。この上にはさらに過酷な階段が酔っぱらいを待ち受けているのだ。(よく見ると力士用の車いすが置いてあるよ)



さらに見よ、この非情なまでの柵席のナナメっぷりを。後ろのほうの一部になぜかこのようにナナメになった柵席があります。ここで相撲を見たらつねに前重心になって、前に転がり落ちちゃうんじゃないか？ビールもこぼれてしまうんじゃないかと、お花見のときにナナメったところに陣を構えて大失敗をした私は心配になるのです。

何故ここだけナナメになっているのか。はたして、これが楽なのか？この席で観戦したことのある人に感想を聞いてみたいものだ。

足場の下をテレビ用に有効活用！

国技館には専用ブースがあるけど、名古屋場所では組んだ足場の下を有効に使ってテレビの編集ブース(?)にしているみたい。ほかにもあまった資材が置いてあったり、懸賞幕が置いてあったり。うっかりメガネを落っことしても、戻ってきそうで安心しました。しかし…しっかりと組んであってビクともしないとはいえ、しょせん足場。この柱をつかって屈強な力士たちにテッポウなんてやられたら…これは怖いわ～。



番外編：ちゃんこは真夏の堂の下で

廊下で販売されていて飲食は屋外です。ベンチも少ないので立ち食いが基本。真夏の炎天下でちゃんこを食べるなんて、もはや苦行です。(幸いにも観戦した日は涼しめだったので助かった)



そこいらじゅう、力士(と親方)だらけ！！♥

体育館内には食堂もあり、一般的なメニューのほか、みそかつや天むすなどの名古屋名物も食べられます。しかし問題は食堂の位置!! なんと花道の奥にあるので、軽い気持ちで食堂に向かうとRIKISHIインパクトが起こります。心臓の弱い方はお気をつけ下さい。さらに恐ろしいことに食堂に着いたら着いたで、お客さんと談笑する親方や取組みが終わって腹を空かせた力士どもが、そこここにいるのです。我々がマンゴープリンを食べていたときに隣で湊親方がお客さんと談笑し始めたものだから、プリンですら喉を通りませんでした。

この工事現場のような道の先に、RIKISHIの楽園がある。一般人よりも力士のほうが多いくらいの場所もある。もちろんビビりすぎて写真など撮れるわけもない。

より近く、よりアツい名古屋場所

取組みがすべて終わった後も、出入口が狭いこともあるせいか国技館ほどせかさされずにのんびりと退出。その間、土俵のまわりに立っている親方を眺め放題。体育館の外に出ると、外はうっすら夕焼け空。ああー、今日は一日楽しかったなあなんて思っていると、最後の最後に特大のRIKISHIインパクトが… 関係者用駐車場から列をなして力士どもを乗せた車が続々と出てきます。GYAAAA!! 琴欧州親方もさっそく車を運転していました。



ビクビクしすぎてピントがあってない、玉鷲の手(たしか)。手を振ってくれたよ。

